

2019年春ダイヤ改正の考え方について（案）

平成30年12月20日
あいの風とやま鉄道（株）

1. 基本的な方針

- (1) 利用実態に即した利便性の確保を図ります。
- (2) 現有の車両数及び要員数の範囲内で効率的な運用計画を策定します。
- (3) 富山駅高架化工事完成に合わせ接続改善を図ります。

2. 運行計画

(1) 列車の行先変更

- ① 朝通勤・通学ご利用時間帯の混雑緩和を図るため行先の見直しを実施します。
 - ア. 現行427M列車を「金沢発→富山行」から「金沢発→泊行」として運行します。
 - イ. 現行531M列車を「高岡発→黒部行」から「高岡発→富山行」として運行します。
 - ウ. 現行429M列車を「金沢発→泊行」から「金沢発→黒部行」として運行します。※朝の泊駅へ到着する列車の運転間隔が約60分間隔に改善されます。

(2) 運転区間の延伸

- ① 夕通勤・通学ご利用時間帯の利便性向上のため、運転区間を延伸します。
 - ア. 現行574M列車を「泊発→富山行」から「泊発→高岡行」として運行します。富山駅から高岡駅間は2両編成で運転します。※金曜日は、富山駅から高岡駅間を4両編成で運転します。

(3) 利便性の向上

- ① 富山駅の発車の順番を見直し、直通利用者の利便性を向上します。
 - ア. 現行440M「17:36発→金沢行」と現行566M「17:44発→高岡行」の発車の順番を見直します。直通列車の富山駅の停車時間を短縮することで、直通利用者の利便性を高めます。
- ② 運転時刻を見直しご利用しやすくします。
 - ア. 現行565M「高岡22:20発→富山行」の運転時刻を約40分繰り上げることで、高岡→富山間の運転本数を、21時台2本、22時台2本に改善します。

(4) 接続改善

- ① 富山駅での接続を見直しご利用しやすくします。
 - ア. 現行574M「泊発→富山行」を区間延伸することで、北陸新幹線、はくたか571号(19:15着)から乗換えが出来るようになります。
 - イ. 現行532M(8:17着)から高山線、現行850D(8:14発猪谷行)へ乗換えが出来るようになります。
 - ウ. 現行566M(17:32着)から高山線、現行866D(17:21発猪谷行)へ乗換えが出来るようになります。
 - エ. 現行555M(18:28着)から高山線、現行870D(18:28発猪谷行)へ富山駅高架化が完了することに伴い乗換えが出来るようになります。
 - オ. 高山線、現行9877D(20:15着)から現行561M(20:16発黒部行)へ富山駅高架化が完了することに伴い乗換えが出来るようになります。
- ② 高岡駅での接続を見直しご利用しやすくします。
 - ア. 現行565M(22:20発富山行)の発車時刻を約40分繰り上げ、城端線、現行9358D(21:27着)と氷見線、現行554D(21:25着)から乗換えが出来るようになります。
 - イ. 現行450M(22:54着金沢行)の発車時刻を繰り上げ、氷見線、現行559D(22:45発氷見行最終)へ乗換えが出来るようになります。
 - ウ. 現行427M(7:32発富山行)の発車時刻を繰り下げ、城端線、現行326D(7:32着)から乗換えが出来るようになります。

(5) 増車

- ① 混雑が予想される大型連休や休日等に列車を増車します。
 - ア. 現行538Mの編成両数を、富山→金沢間で2両から4両に増車します。
 - イ. 現行439Mの編成両数を、金沢→富山間で2両から4両に増車します。

3. 観光列車

- ① 観光列車「一万三千尺物語」の運行を4月6日(土)より開始します。
 - ア. 1便「富山11:00発→泊(折り返し)→富山13:07着」
 - イ. 2便「富山15:28発→高岡(折り返し)→黒部(折り返し)→富山17:54着」

4. 今後のスケジュール

| | | |
|-------|------|---------|
| 2019年 | 1月下旬 | 詳細ダイヤ発表 |
| | 3月中旬 | ダイヤ改正 |